

【OIE 情報】香港における低病原性鳥インフルエンザ（H7N9）の発生について

香港における低病原性鳥インフルエンザ（H7N9）の発生について、OIEへ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

【出典】

OIEウェブサイト（2015年1月2日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16869

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1件（緊急報告）
- ・発生日：2014年12月30日
- ・OIEへの報告日：2015年1月2日
- ・血清型：H7N9（低病原性）
- ・臨床徴候なし

【発生状況】

- ・発生場所：香港 長沙湾（ちょうさわん） 興華街4

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
家きん	18,962	1	0	18,962	0

【疫学情報】

- ・感染源：合法的な動物の輸入
- ・強化サーベイランスシステムを全ての輸入家きん、野鳥、地域の家きん農場、家きん市場及び愛玩鳥販売店で実施
- ・2014年12月30日、サーベイランスにおいて、1,200羽の輸入委託品の生きた鶏について検査を実施したところ、低病原性鳥インフルエンザウイルス（H7N9）陽性
- ・2014年12月31日、合計18,962羽の家きん（11,800羽の鶏、3,140羽の烏骨鶏、1,025羽のイワシャコ※、2,997羽の鳩）を殺処分
- ・生きた家きんの輸入及び地域の農場の家きんの移動は21日間禁止
(※動物衛生課注：キジ目キジ科に分類される鳥類)

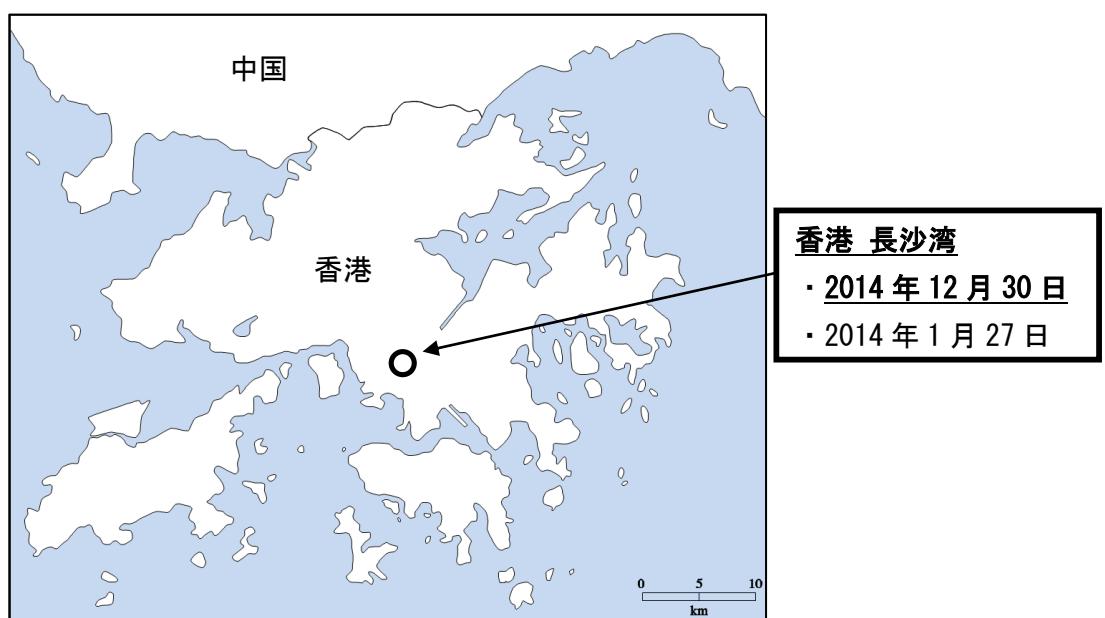
【対応】

- | | |
|-------------|------------------------|
| ・淘汰 | ・ゾーニング |
| ・隔離 | ・施設等の消毒実施 |
| ・国内における移動制限 | ・発生に対応したワクチン接種は実施していない |
| ・スクリーニング | ・患畜を治療対象としない |

【診断】

- ・診断施設：香港 漁農自然護理署 Tai Lung 獣医学研究所（国立研究所）
- ・診断方法：赤血球凝集抑制試験：陽性（2014年12月30日）
PCR：陽性（2014年12月30日）
ウイルス分離：確認中
- ・診断施設：香港大学 李嘉誠医学院 公衆衛生学部 インフルエンザ研究センター（地域のリファレンスラボラトリー）
- ・診断方法：遺伝子配列確認：確認中

参考情報 1：香港における低病原性鳥インフルエンザ（H7N9）の発生地図



参考情報 2：海外における家きん等での鳥インフルエンザの発生状況に関する情報

（農林水産省動物衛生課にて収集した情報はインターネットで公表しています。）

<http://www.maff.go.jp/j/syuan/douei/tori>

<http://www.maff.go.jp/j/syuan/douei/tori/#aiworld>